

目指せ日本一！

めりらさく

見沼たんぼプロジェクト

さいたま市



る桜並木をさらにのぼし、見沼たんぼをステージに市民や団体、事業者の皆様とともに市の象徴として日本一の桜回廊をつくろうとするものです。

見沼たんぼ周辺には、サッカー、盆栽、鉄道などの様々な地域資源があります。これから作り上げていく日本一の桜回廊を通じて、市の自然資産を発信する大きな機会であると考えています。桜を植えるだけでなく、休憩スペースなどもつくり地元市民はもとより、さいたま市民や首都圏からの来訪者にとってもかけがえのない環境資産である見沼の良さを感じていただけたらと思います。

市民や団体・事業者の皆様と、行政が共につくりあげることによって、さいたま市の絆がさらに深まり、この絆をむすんでいく、一つのシンボルになるようなプロジェクトを目指していきます。

また、今回の取り組みは、「世界盆栽大会^{*1}」や「さいたまクリテリウム by ツールドフランス^{*2}」と同様に市民の皆様への誇りとなることを最も重要だと考えています。

目的

見沼代用水の管理者である見沼代用水土地改良区および水資源機構利根導水総合事業所見沼管理所をはじめ、市民、団体、事業者等の皆さまと行政の地域社会の多様

はじめに

全国各地で桜の開花のニュースが流れると、今年も春がきたなあと感じる方も多いのではないのでしょうか。

さて、桜は、さいたま市の花木であり、春には市内のさまざまな場所で、花が咲き誇ります。今回ご紹介する「目指せ日本一！サクラサク見沼たんぼプロジェクト」は、見沼代用水の西縁・東縁に現在でも見事に咲いてい

な主体とのかかわりにより、見沼たんぼをステージに、見沼代用水西縁、東縁を結び「日本一の桜回廊」をつくり、桜に囲まれた自然環境豊かな魅力ある都市空間づくりを推進し、地域の活性化に繋げていきます。

また、桜の植樹にあわせて、見沼代用水沿いの桜回廊景観や散策環境の向上を目指します。

見沼たんぼの桜の現状

- ・桜並木の距離は、平成25年8月の現地調査では、用水沿い桜並木の距離は、西縁で11.1キロメートル、桜は993本、また、東縁では、6.3キロメートル、桜は693本、そして、見沼通船堀の付近では、0.8キロメートル、127本で、合計18.2キロメートル、1,813本という結果であり、たくさんの桜があることがわかりました。
- ・見沼たんぼ周辺では、「日本さくら名所100選」にも選ばれている大宮公園をはじめ、大宮第二公園、見沼自然公園など、桜が多く植えられている公園があり、学校なども加えると、約5千本弱の桜の木が植えられていることがわかりました。

整備方針

- ・見沼代用水には、これまでも団体や市民の方々による桜の植樹が行われ、桜並木が作られてきました。その運動を継承して、残り区間に植樹し20km以上の桜の回廊の整備を目指します。



お花見（大宮第二公園）

- ・市民、団体、事業者等が主体となり、関係機関の協力を得て植樹を進めます。
- ・重点整備区間（大宮第三公園～大原中学校）は、散策環境向上に向けた整備を行っていきます。
- ・用水沿いの防護柵の改善や桜回廊散策路を整備し、その他のエリアでもベンチ等の整備を行います。
- ・埼玉県の公有地等を活用して、桜の拠点として創出し、さいたま新都心、大宮地区、美園地区等のまちづくりと一体性を持った桜回廊づくりを目指します。

植樹の進め方

- ・市民、団体、事業者等からの寄附による植樹を基本とします。
- ・桜を長く楽しむため、開花時期の異なる樹種を植樹していきます。

（※1）世界盆栽大会

盆栽の魅力の世界に広めるために始まったイベントで、第8回大会がさいたま市で平成29年4月に開催予定。

（※2）さいたまクリテリウム by ツールドフランス

世界最高峰の自転車競技レースである「ツールドフランス」の名を冠した世界初のイベント。昨年10月に第1回が行われ、第2回目が今秋10月25日開催予定。



春に誘われて（見沼代用水東縁沿い）

（「私の好きな見沼たんぼ写真コンクール」より）